

ウクライナ戦争と平和の条件

神奈川大学特別招聘教授

しもと まい
下斗米 伸夫

- * ロシア・ウクライナ対立の出発点
- * 戦争の早期終結を阻んだ背景
- * 地図から読み解く対立の歴史
- * バランス感覚を失ったプーチン
- * 漏洩文書からわかったこと
- * ゼレンスキー政権内の対立構図
- * 始まった戦争終結への模索
- * 活発化する反アメリカの動き
- * 外交解決を求めるアメリカの世論
- * NATOのジレンマ



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

昨年も4月に下斗米先生においでいただきましたが、今年もこの1年の結果を経てウクライナの問題について先生のお話をお聞きしたいということでお招きいたしました。1948年のお生まれで、東京大学大学院から法政大学を経て、現在、神奈川大学にお務めでいらっしゃいます。去年もここでもっと申し上げましたが、完全にウクライナとアメリカ寄りの論評しかこのところテレビ等では出ないわけですが、われわれはもうちょっと複眼的な思考で現実の世界がどういうふうに動いているのか、アメリカの内部、あるいはウクライナの内部、ヨーロッパの内部がどうなっているかといったことを真剣に見極めなければいけないという気がいたしました。

す。下斗米先生はそういう観点から今日もお話をいただけるのではないかと思います。

それでは先生よろしくお願いいたします。（拍手）

ロシア・ウクライナ対立の出発点

下斗米 ただいまご紹介賜りました神奈川大学におります下斗米でございます。

本日はこのたいへん格調高い経済倶楽部にお招きいただき、去年同様ウクライナ問題、ウクライナ戦争についてお話しさせていただく機会を与えられましたことに改めて感謝申し上げます。

去年の講演はちょうど4月25日でございますが、戦争が始まった2月後でした。突然の開